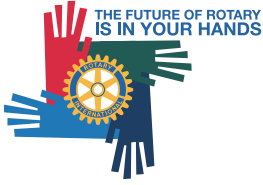




日出ロータリークラブ週報

第 2720 地区 Rotary Club of Hiji



2009～2010年度RIテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の中に



RI会長
ジョン・ケニー



RI第2720地区ガバナー
山崎 勝



RI第2720地区ガバナー補佐
加藤 兼司

例会日 火曜日 19時00分
 例会場 日出町 別府湾ロイヤルホテル
 事務局 〒879-1502
 大分県速見郡日出町大字藤原6005-50
 (有)大分コンストラクション
 TEL.0977-73-1301 FAX.0977-73-1304

会 長 鈴木 貫 史
 副 会 長 秋 吉 尚 康
 幹 事 小 路 郁 郁
 クラブ広報委員長 河 野 一 幸

- 点 鐘 19時00分
- ローターソング 君が代・奉仕の理想
- ゲスト チン・カホウさん（米山奨学生）
- ビジター 松岡幸一郎氏（別府）



鈴木会長と
チン・カホウさん
（米山奨学生）

2009-10年度
ロータリーを楽しもう
 日出RC会長 鈴木貫史

日出ロータリークラブホームページURL
<http://www.hijirc.com/>

— 四つのテスト — 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

■出席報告		西田和昭委員長	
会 員 総 数	13名	ゲ ス ト	1名
会 員 出 席 数	12名	ビ ジ タ ー	1名
出 席 率	92.3%	出 席 者 数	13名
前々回出席率	92.3%	修 正 出 席 率	100%
100%連続回数	0回	100%通算回数	352回
出 席 免 除	山田滋彦		
メイクアップ			
● 事 後	上野公則 7/14別府中央		
● 欠 席	児玉重信		

■ 会長の時間 会長 鈴木 貫史

皆様こんばんは。本日は、金田先生の初めての卓話です。よろしくお祈いします。

さて、8月は会員増強月間であります。国際 R I ジョン・ケニー会長、第2720地区山崎勝ガバナーともに、会員増強と広報活動を最重要事項として取り組むように支持され、すでに始まっております。「最初の世界的奉仕団体であり、職業奉仕の高い精神哲学の上に成り立つ奉仕を行う、誇りと実績を持つロータリーが危機にあるのです。ロータリアンは、誇りを持ちましょう。その誇りをもって仲間を増やし、ロータリーの哲学を達成する為の手段としての奉仕を楽しくやろうではありませんか」と、啓蒙しています。

我々日出クラブは、8月11日（火）上林寺（高月東住職）にて、早朝職場例会を6：00より行います。また、20日（木）には別府東RCと会員増強をテーマとした合同例会を計画し、最後の例会日25日（火）は、山田会員増強委員長によるクラブフォーラムを予定しております。

ここきて、やっと夏らしく暑くなってきました。このひと月、皆さん自身の発展、成長を求めるのは当然ですが、日出ロータリークラブのためにも何か一つずつ奉仕を考えてみて下さい。そして、実りある月間となるよう協力の程お願い致します。

■ 幹事報告 幹事 小路 郁

1. 本日の予定 会員卓話
新入会員卓話 金田規嗣会員
2. 次週の予定
8月11日(火) 早朝例会【上林寺】
早朝6時点鐘
3. 本日の配布 ◆ガバナー月信8月号
4. お知らせ
※週報NO.1～4までホームページにて閲覧
可能です。
※7月25日(土)、崇城大学市民ホール2F
大会議室に於いて「RI第2720地区2009-
2010年度会員増強セミナー」が開催され
ました。
鈴木会長、山田会員増強委員長が出席しま
した。

※7月31日(金)、日出町町長及び日出警察
署長に、鈴木会長と小路幹事が就任挨拶に
行きました。

5. 例会変更のお知らせ
大分臨海RC…8月10日(月)は姉妹クラブ
北浦項RC 歓迎例会並びに夏
季親睦家族会の為8月9日
(日) 18:30～大分三井ビル
に開催日時・場所変更
大分1985RC…8月10日(月)は納涼家族花
火例会の為8月9日(日)
18:30～大分川河川敷に開
催日時・場所変更

■ ニコボックス

- ・河野一幸会員：(W) 前回、前々回と例会を欠
席いたしました。すみませんでした。



会員卓話 「自己紹介」

金田 規嗣 会員

ロータリーに入会して1ヶ月が経過しました。今、もしも私の子供に「ロータリーは何を行う組織なの？」と質問されたならば、私はこう答えようと思います。「毎週、仲間が集まり親睦を深める。そしてその仲間を増やして、地域にそして世界に、財政的・人道的な社会貢献を行う組織だよ」と。妻が聞きます。「毎週集まらなければいけないの?」。私は答えます。「クラブ活動と同じで、ある程度の規律が必要だから」。また妻が尋ねます。「ペシャワール会のようなNGOに直接寄付したほうが有意義じゃない?」「うーん、そうだな…」。

私は昭和36年6月4日に津久見市に生まれました。父は内科の診療所を開業していました。男4人兄弟の3番目です。昭和62年に福岡大学医学部を卒業し、大分医科大学耳鼻咽喉科教室に入局しました。その後下関済生会病院、国立別府病院を経て、平成12年10月に日出町に耳鼻咽喉科診療所を開院しました。

父は私が大学を卒業する直前に59歳で他界しました。母は元気に趣味の畑仕事に精を出しています。長兄が津久見の診療所を継承しました。次兄は大分赤十字病院に腎臓内科医として勤務しています。弟は4年前に東京で整形外科診療所を開院しました。年に数度兄弟で食事をしますが、話題は子供の健康のことが中心で、とても楽しみにしています。

自宅は別府です。妻とはお互い学生時代に知り合いました。子供は4人、高校2年の長女、中学3年の二女、中学1年の長男、そして小学校3年の3女です。私の趣味は夏のシュノーケリングと冬のスキーです。でも最近はスキーに付き合ってくれるのは3女だけです。幸い沖縄でのシュノーケリングは子供たちに好評であり、家族みんな、沖縄の離島のファンです。今年の夏もとても楽しみにしています。

私は大学では準硬式野球部に所属していました。当時は医学部生が練習グラウンドを使用できるのは早朝だけでしたので、春から夏は毎朝6時から8時まで練習を行い、そのあとは講義に出て、夕方は基礎トレーニングをしました。練習のおかげで講義をさぼることはあまりなく、我ながら頑張ったと思います。野球部の仲間とは今でも連絡を取り合っています。

夏から秋にかけて私には大切な仕事があります。庭の芝刈りと、自慢の薪ストーブに使う薪集めです。せせらぎの流れと炎は見飽きることがないと言われますが、私には薪ストーブの炎を見つめるよりも、薪集め自体が喜びになっているようです。近所の製材所で余った材木を分けてもらい、自宅に持ち帰りチェーンソーで40センチの長さで切断します。この単純作業を続けると薪棚がいっぱいになります。芝刈りも同じです。短く刈られた芝生とビニール袋いっぱいになった芝を目の前にすると、ささやかな満足感と達成感を感じるのです。

診療所の仕事は順調です。周囲のみなさんのおかげです。特に従業員に恵まれたことは幸運だったと思います。今の希望は、父の診療所がそうであったように、私の診療所も地域のみなさんの風景のひとつになればと思っています。

以上とりとめの話になりましたが、これで私の話を終わります。